

E・Zアクセスを用いた小切開先行腹腔鏡下大腸癌手術 — 結腸右半切除 —

國場 幸均 先生 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 消化器・一般外科 教授

■はじめに

大腸疾患に対してより安全な腹腔鏡下手術を施行する目的でE・Zアクセスを用いた小切開先行腹腔鏡下大腸手術を施行しているのでその工夫を紹介する(図1)。

■E・Zアクセスの特性

ラッププロテクターに装着でき、任意の位置にトロカールの配置が可能である(図2)(図3)。ラッププロテクターより取り外しができ、臓器の取り出しが容易である。また再装着出来る。

新たにラッププロテクター FF1010M 用の規格追加。3種類の規格(05用、07用、10用)より、最小1.5cmの皮切から最大6cmの皮切に対応できる。

複数本トロカールを配置した場合にも、トロカール同士の干渉がほとんどない。

■本法の特徴と有用性

通常の腹腔鏡下手術では、約1～2cm程度の切開創から第1ポートの挿入が成される。極小さな切開創から行われるその手技は、腹腔内であることの確認と腹腔内臓器損傷の回避への配慮が必要である。

肥満症例においては、さらにその手技そのものがストレスフルな手技となる場合も多い。それを解決するため手術開始時に3～5cmの小切開創を置きラッププロテクター、E・Zアクセスを装着する。そうすることで第1ポートの挿入から気腹操作までを容易にストレス無く短時間で行うことが可能である。

また、腹腔鏡下大腸手術においてはいずれ病変腸管を体外に引き出し切除あるいは吻合操作を必要とするため先に置いた小切開創は有効に活用できる。更には、術中の出血や腸管損傷が生じ腹腔鏡下には止血や修復が困難な場合にも症例によっては直視下に俊敏な対処が可能である。

■手術操作(結腸右半切除)

1. 小切開の先行

臍部を下端とした3～5cmの小切開を置きラッププロテクター FF1010M を装着する。

E・Zアクセスにポート5mm×2を刺入しラッププロテクターに装着する(図4)(図5)。

スコープ観察下に左側腹部12mm、下腹部正中5mmのポートそれぞれ挿入する(図6)。



図1 E・Zアクセス
(届出番号 20B1X00005000030)



図2 ラッププロテクター
(承認番号 219008ZX00940000)

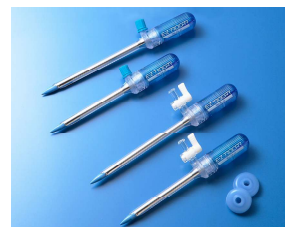


図3 E・Zトロカール
スマートインサージョン
(認証番号 225ADBZX00051000)



図4 E・Zアクセスにポート
刺入

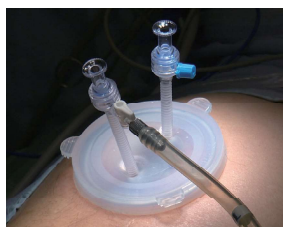


図5 ラッププロテクターに
装着



図6 腹部にポート挿入

2. 手技の手順

基本的には、内側からの剥離操作を先行した内側アプローチで手術操作を施行している。
全体の流れを以下の5つ(1)～(5)の手術操作に分けると理解しやすい。

(1) 内側からの剥離・郭清

回結腸動静脈背側から十二指腸前面の剥離(図7a)
回結腸動静脈領域の郭清操作・血管処理(図7b)
十二指腸前面、臍鉤部前面の剥離、腎筋膜前面から
回腸背側の剥離



図7a 十二指腸前面の剥離

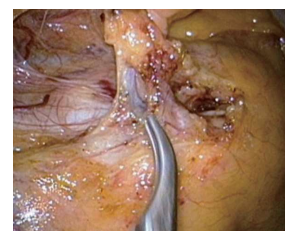


図7b 郭清操作・血管処理

(2) 回盲部の授動(尾側からの剥離)

尿管、精巣(卵巣)動静脈、腸骨動脈の確認
盲腸～回腸終末部背側の剥離
腎筋膜前面～十二指腸前面の剥離

(3) 肝彎曲部の授動

肝結腸間膜の切離
横行結腸間膜内側の剥離

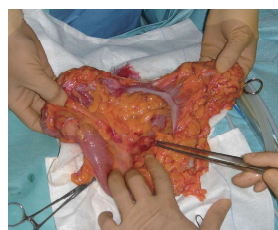


図8 体外操作による腸管の
切除・吻合



図9 手術跡

(4) 腸管切除・吻合(体外操作)(図8)

(5) 手術終了(図9)

■まとめ

E・Zアクセスを用いた小切開先行腹腔鏡下大腸癌手術の工夫を紹介した。小切開を先行することで術者のストレスを軽減し、安全性の確保につながる手術法と考えている。また、E・Zアクセス内へポート配置を移動することでRPS(Reduced Port Surgery)への展開も可能となる。

●略歴



【学歴・職歴】

平成11年04月01日 北里大学医学部外科学講師
平成12年09月01日 米国ニューヨークマウントサイナイ医科大学内視鏡外科留学
平成18年04月01日 北里大学東病院消化器外科 下部消化管主任
平成19年06月01日 京都府立医科大学大学院消化器外科学講師
平成23年04月01日 京都府立医科大学消化器外科 准教授 中央手術部副部长
平成24年11月01日 聖マリアンナ医科大学消化器・一般外科教授
横浜市西部病院 消化器・一般外科部長
平成26年04月01日 聖マリアンナ医科大学横浜市西部病院 副院長
北里大学医学部客員教授

【学会役員など】

日本消化器外科学会 評議員(平成24年5月～)、日本大腸肛門病学会 評議員(平成24年9月～)、
日本癌治療学会 代議員(平成23年8月～25年)、日本内視鏡外科学会 評議員(平成15年～)、
腹腔鏡下大腸切除研究会 運営委員(平成9年～)、JCOG 0404 メンバー(平成15年～24年)、
近畿外科学会 評議員

【学会の認定医、専門医、指導医等】

日本外科学会 専門医・指導医、日本消化器外科学会 専門医・指導医、消化器がん外科治療 認定医、
日本大腸肛門病学会 専門医・指導医、日本内視鏡外科学会 技術認定医、日本消化器内視鏡学会 専門医、
日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会 ストーマ認定士、アメリカ消化器内視鏡外科学会(SAGES) Active Member、
アジア消化器内視鏡外科学会(ELSA) Active Member、身体障害者福祉法第15条指定医、
日本臨床外科学会、日本癌治療学会、日本外科系連合学会、日本消化器病学会、日本胃癌学会、
日本静脈経腸栄養学会、近畿外科学会

心のかよう医療器ハッコー
Hakko 株式会社 八光

〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目42-6 NKDビル5階 ☎(03)5804-8500
ホームページ <http://www.hakko-medical.co.jp/>

札幌 ☎(011)611-8520	横浜 ☎(045)954-2111	名古屋 ☎(052)914-8500	福岡 ☎(092)411-4100
仙台 ☎(022)257-8502	長野 ☎(026)276-3083	大阪 ☎(06)6453-9102	熊本 ☎(096)379-5806
柏 ☎(04)7147-8500	金沢 ☎(076)253-8500	岡山 ☎(086)243-3985	本郷商品管理センター
本郷 ☎(03)5804-8500	静岡 ☎(054)282-4185	松山 ☎(089)935-8517	☎(03)5840-8502

〒389-0806 長野県千曲市大字磯部1490番地 (本社工場)